

东京外国语大学附属日本語学校

日本語

3

习题・试题集

吉林教育出版社

335319

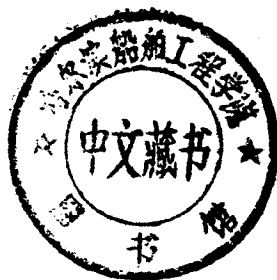
东京外国语大学附属日本語学校

日 本 语

Ⅲ

习题 · 试题集

庄 旭 李若柏 王 瑛



吉林教育出版社

DLU54/117

日语Ⅱ习题·试题集

庄旭 李若柏 王瑛

责任编辑：张岩峰

封面设计：王劲涛

出版：吉林教育出版社	850×1168毫米 32开本	6.125印张150,000字
发行：吉林省新华书店	1989年8月第1版	1989年8月第1次印刷
印刷：延边新华印刷厂	印数：1——2,000册	定价：2.40元
	ISBN 7-5383-0790-7/G·738	

编写说明

本书根据《日本語Ⅱ》的课程结构，相应分为十二课。

每课自成体系，分别由〈本文読解問題〉、〈応用問題〉、〈実力試験問題〉三个单元构成。

第一单元〈本文読解問題〉，是根据课文中的重点段落提出问题，检验学习者对课文的理解、掌握程度。

第二单元〈応用問題〉，主要是练习、巩固词汇，加深对词汇基础知识的认识。本单元包括（一）“熟語の構成”；（二）“同義語、対応語、同音異義語”；（三）“ことわざ、慣用句、故事成語”三部分。

第三单元〈実力試験問題〉，为综合性日语水平测试题。本单元分为“I”、“II”两套试题，均为难度较大的中高级日语试题。特点是选用了篇幅长、逻辑性、理论性强的文章，以当代日本最常用、最有代表性的出题方式，从各种角度对学习者的理解能力、知识范围进行检测。它既可以用来作为检验学习者日语综合水平的试题，也可以作为阅读教材来学习，提高日语分析和理解能力。

本书的目的在于加深掌握《日本語Ⅱ》，并在此基础上，通过大量阅读的方式，扩大知识面，提高日语应用能力。

本书可作为学习者鉴定日语实力的尺度，也可以作为日语教师命题解题的参考书。特别对于将要参加出国日语水平测试的同志，更有参考价值。

为方便学习者自检自测，书后附有参考答案。

本书在编写过程中曾得到东北师范大学留日预备校日本专家的热情支持和指导，吉林市科技进修学院教师庄金铨同志给予大

力协助，在此一并感谢。

限于我们的水平，难免存在不足或欠妥之处，欢迎指正。

编 者

1988年12月

目 录

第一課.....	(1)
第二課.....	(15)
第三課.....	(28)
第四課.....	(39)
第五課.....	(51)
第六課.....	(63)
第七課.....	(78)
第八課.....	(92)
第九課.....	(108)
第十課.....	(119)
第十一課.....	(130)
第十二課.....	(146)
附： 參考答案.....	(164)

第一課

第一單元 本文読解問題

〔A〕次の文を読んで、後の問いに答えよ。

20世紀後半の現在、世界は、生活水準の向上を目ざして、科学の発達と相まって、一路機械化への道を、そして福祉国家への道を上昇している。こうした現象はいったい、人間にどんな影響をもたらすであろうか。

わたしがストックホルムに着いた時、いろいろな国際会議が重なって、ホテルは超満員で、部屋がとれなかった。ちょうど親切な友だちが、その叔母さんが留守だからというので、一人用のモダンなフラット(アパート式住宅)を貸してくれ、わたしは2週間ばかりそこに滞在した。なにしろ、インドの辺境生活から出て来たばかりの時だったので、初めはそのモダンなフラット生活を大いに楽しんだ。

そのフラットはストックホルムの西方の閑静な美しい住宅街にあった。下にデンマーク料理の小さなしゃれたレストランが^aあって、その横の^b総ガラスのドアを押して、スマートなかわいい自動式のリフトで6階にのぼる。一分のすきもない、きれいなドアのかぎをあけると、左側に玄関に必要なちょっとした家

具があり、真中は奥まで1メートル半ほどの幅の廊下がついており、その右側の白いドアをあけると、2メートル四方ほどの完備した台所、次のドアをあけると、ゆっくりしたタイル張りのバスルーム・洗面所・トイレット、そして奥の突き当たりのドアをあけると、15畳ほどの寝室兼居間となっている。居間の正面は全部ガラス張りで、厚地のレースのカーテンがかかっており、その外にはベランダがついている。9月だというのに、スチームが通っており、自由に調節できる。全く快適な一人住まいである。さて、バスに入るときには、水道の栓をひねり、もう一つの熱湯の栓(ストックホルムの新しいビルディングには、水道と全く同じように熱水道が来ているから、お湯など沸かす必要がない。)をひねって、両方から水とお湯が出た瞬間、温度計がぐっと上がって、手を触れずに温度の調節ができる。台所の近代化は言うまでもない。汚物を捨てるにもボタン一つ押せば、ぽっかり大きな穴が地下まで続いている。何でもそこに投げ込めばよいから、世話はない。そして用件はすべて電話ですます。ストックホルムの典型的な生活だ。

問題一 本文の内容と一致するものには○、一致しないものには×を記せ。

- (○) 1. 作者の中根さんは旅館にあらかじめ部屋を注文したので部屋を取った。
- (×) 2. 中根さんはあらかじめ注文しなかったので、部屋がとれなかった。
- (×) 3. 親切な友達がホテルの部屋を用意してくれた。
- (×) 4. 中根さんは直接日本からスウェデンに来たのだ。
- (×) 5. フラットの玄関には完備した家具があり、2メートル幅の廊下が奥まで続いている。
- (×) 6. 廊下の奥の突き当たりには台所やバスルームや洗面所

やトイレなどがある。

(×) 7. バスに入ることも汚物を捨てることも世話はない。

(○) 8. 居間には窓がついていない。

問題二 aからdまでの指示詞は何を指して言うのか。文中から抜き出して答えよ。

- a. _____
- b. _____
- c. _____
- d. _____

〔B〕次の文を読んで、あとの問いに答えよ。

保育園から養老院を訪れたわたしは、また驚いてしまった。最近できたばかりの鉄筋コンクリート10階建てのスマートなビルディングである。一流ホテルのような造りである。エレベーターは、ベッドが二つ楽々入れられるほどの大きさに、老人に多い病弱な人々の住む建物のエレベーターとして、なんと行き届いていることか。自分で生活できない60歳以上の老人はすべて政府の援助によってここでただで(おこづかいさえある)安楽な生活ができるのだ。各人独立の部屋をもち、夫婦者にはサロンとベッドルームから成る二部屋が与えられ、5部屋に一人の割合で、よくトレーニングされた、清潔そのものの看護婦がついている。6階には食堂があるほか、各階にはちょっとした簡単なキッチンがついていて、何か作りたければ料理も自由にでき、また1階には喫茶室・売店などがある。

スウェーデン人は全く老後の心配など何もないのだ。どこの国の老人より物質的に快適な生活が死ぬまでできるのだ。たしかにそれはすばらしいことだ。従来の家族制度がくずれ、晩年のみじめな困窮した老人を持つわたしたちから見れば、理想の社会である。しかしこんなにすくい社会保障というのを見せられると、いったいこれが人間にとっていいものなのかどうか

を考えてしまう。廊下で行き交うおばあさんやおじいさんが、うつろな灰色のひとみをしているのが、わたしはひどく気になった。あんなにうつろな老人のひとみは今まで見たことがなかった。考えてもわかるだろう。何もしなくて生きているだけの人生とはどんなものか。憎しみも愛もない人間の生活、困窮の苦しみも働く喜びもつらさもないという生活、これでは文学などというものも滅びてしまうにちがいない。

問題一 本文の内容と一致するものには○、一致しないものには×を記せ。

- (×) 1. 養老院は10階建てのホテルの中にある。
- (×) 2. エレベーターにはベッドが二つ入れてある。
- (○) 3. エレベーターはベッドが二つ楽々入れられるほど大きい。
- (○) 4. よくトレーニングされた看護婦が一人5部屋の担当者として働いている。
- (×) 5. 6階にキッチンがあって、何か作りたければ料理も自由にできる。
- (×) 6. 従来の家族制度がくずれ晩年のみじめな困窮した老人を持つ日本と比べればスウェーデンの老人の方が実に幸福だ。
- (×) 7. 廊下でぼんやりしているおばあさんやおじいさんの灰色のひとみを見て作者は心配した。
- (○) 8. 憎しみも愛もない人間の生活はほんとうの人生ではないと思う。

問題二 文中の「これでは」は何を指しているのか、文中から抜き出して答えよ。

第二单元 応用問題

(一) 次の文章中の _____ 線部の漢字の読みを、ひらがなで書け。

- (1) 賞賛を浴びる。
- (2) 勇気を奮う。
- (3) 困難を克服する。
- (4) 親の承諾を得る。
- (5) 心身を鍛練する。
- (6) 新入部員を募る。
- (7) 同窓会への出席を促す。
- (8) 会議が紛糾した。
- (9) 迅速に報道する。
- (10) 功名心に燃える。
- (11) 事情の詳細を説明する。
- (12) 従業員を解雇する。
- (13) 連載小説を執筆する。
- (14) 危険な状態に陥る。
- (15) 煩わしい問題が起こる。
- (16) 罪を償う。
- (17) 気持ちちが和らぐ。
- (18) 詳しい情報。
- (19) 湯が沸騰する。
- (20) 写真を添付する。
- (21) だいじなことを抜粋してノートに書き写す。
- (22) 世界の偉人の逸話に興味をもった。
- (23) 日記をつけるのをつい怠ってしまった。
- (24) 文章中の紛らわしい表現を改めた。

(二) 次にあげる言葉の同義語を、後の語群中から見つけて、記号で答えよ。

- (1) 共鳴() (2) 失望()
(3) 冷淡() (4) 訓練()
(5) 単純() (6) 支援()
(7) 考査() (8) 体験()
(9) 悪事()

{ ア簡単 イ落胆 ウ同感 エ経験 オ鍛練 }
{ カ援助 キ試験 ク非行 ケ薄情 }

(三) 次のことわざの中の空欄になっている部分を補って、ことわざを完成させよ。

- (1) 小の虫を殺して□の虫を生かす。
(2) □の中のかわず大海を知らず。
(3) かわいい子には□をさせよ。
(4) 飛んで火に入る□の虫。
(5) 能ある鷹^{たか}は□を隠す。

第三单元 実力試験問題

I. 次の小説を読んで、後の問いに答えよ。

村の人たちは、他家のお嫁さんのことは、①どこそこの嫁さんという言い方をして、名前では呼ばなかった。酒屋の嫁さん、金物屋の嫁さん、下りの嫁さん、岡田の嫁さんといった具合である。嫁さんというものは、大体において辛いものであったらしい。

どこの家でも、家人が嫁さんに対して意地悪だったり、辛く当たったりしたわけではない。家の者全部から優しく遇されている嫁さんもあれば、反対に実権を持って、わがもの顔に振る舞っていた嫁さんもあったはずである。(A)それぞれの家で嫁

さんがいかなる立場にあらうと、その家を一步出ると、嫁さんは嫁さん以外の何ものでもなかった。村人全部の眼は、嫁さん
としか遇さなかった。村人の眼は多少冷たく、多少意地悪く、
その嫁さんに当てられる。

葬式とか、婚礼とか、法事とかの時は、振舞いのご馳走^{ちそう}を作るために、村の女たちはその家に手伝いに行くが、そんな時嫁さんが混じっていると、四方八方から②きびしい眼が、嫁さんの一挙手一投足を押し包んだ。幼い私たちにも、何となくそうした嫁さんの姿が、(B)に感じられた。

本家で法事^{つらら}か何かがあった時、私は手伝いに来た近所の家の嫁さんが、氷柱の下がっている小川で手を真っ赤にして、せっせとたくさんの食器を洗っているのを見ていたことがある。③一番辛い仕事を、彼女はひとりで受け持っていたのである。

私はおそらく彼女が身を屈めて洗いもの^{かが}をしているのを、その傍に立って、半ば気の毒に思いながら眺めていたのであらう。その時、そのかわいそうな嫁さんの手から小さい皿^{なべ}が滑り落ち、川端の石に当たって割れるのを見た。

——割れた!

思わず、私の口から言葉がとび出した。瞬間、嫁さんは私の方に顔を向けたが、その顔は異様に歪^{ゆが}んでいた。そして皿の割れたことを確かめるように、

——割れたね。

と静かに言った。

——勝手に、皿が自分で割れたんだ。

私は言った。(C)気持ちだが、幼い私の心にも働いたのであらう。すると、相手は、いかにもおかしように声を出して笑い出し、丁度そこを通りかかった女の人を呼びとめた。そして私のことを相手に報告したらしく、こんどは二人の女が、私の方を見ながら笑った。二人の女の笑いにいかなる意味があったか知

らないが、私は何となくもの笑いにされたようなちぐはぐな思いを持った。

——この坊は、小さいくせに、本当に如才ない。

そんなことが言われでもしたような、その場の感じだった。私はすぐにそこを離れたが、(D)受け取られなかったことの怒りと淋^{さび}しさはあったようである。その嫁さんは、後年村でも評判のいい内儀^{かみ}さんになったが、私はその女性に対してずっと好感を持つことはできなかった。幼時の小さい思い出のためであった。

問一。(A)の中には、次のどの語を入れればよいか。最も適切なものを選び、符号で答えよ。

ア. しかも イ. だから

ウ. しかし エ. さらに

問二。(B)の中には、次のどの語を入れればよいか。最も適切なものを選び、符号で答えよ。

ア. 孤軍奮闘 イ. 四苦八苦

ウ. 孤立無援 エ. 八方美人

問三。(C)の中には、次のどの文を入れればよいか。最も適切なものを選び、符号で答えよ。

ア. 皿を非難する

イ. 大事な皿をおしむ

ウ. 責任をのがれようとする

エ. 相手をかばってやる

問四。(D)の中には、次のどの語句を入れればよいか。最も適切なものを選び、符号で答えよ。

ア. ユーモアがユーモアとして

イ. 好意が好意として

ウ. 意見が意見として

エ. 愛情が愛情として

問五。——①とほとんど同じ内容を述べている部分を、二〇字前後で抜き出せ。(句読点も一字と数えること。)

問六。——②の部分の意味を、わかりやすく説明せよ。

問七。——③で、彼女が一番辛い仕事をすすんで受け持っていたのはなぜか。その理由として、最も適切なものを次のア～エから選び、符号で答えよ。

ア。何事も一人でやった方がよいという、孤独を愛する性格であったから。

イ。結局はやらなければならないやなことは、早くやってしまった方がよいから。

ウ。周囲の人により嫁と思われるためには、そうせざるをえなかったから。

エ。みんなに、自分がよく働く嫁だということを、みせつけてやりたかったから。

Ⅱ. 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

明治十年代にとくにさかんであった翻訳文学の文体が、なかには戯作風の文体もありますが、多くは漢文くずしといわれた文語体で、評論や後に述べる政治小説と同じであったのも、それがいわゆる戯作とは別系統の小説であることをおのずから示していたと思われます。

当時の翻訳小説には、ヨーロッパの機械文明のさかんな有様を描いた、「八十日間世界一周」(明治十一年刊)などもありましたが、重要なものは歴史または現代に材料をとった恋愛小説でした。男女の結びつきは、とくにヨーロッパでは小説の重要な——ほとんど唯一の——テーマなので、我が国に翻訳されるものも、それが多数を占めました。

当時我が国では、恋愛という言葉は、まだ一般に使われず、恋愛小説であることを示めすために春話、あるいは情話などという言葉が用いられました。

たんに恋愛という言葉がなかっただけでなく、恋愛は社会的な存在の権利もみとめられませんでした。

一般のいわゆる良家の子女は、そういうことをしないものであって、言葉でも触れてはいけないものだというのが一般の道徳でした。

文学の世界でも、男性の恋愛の対象になるのは、花柳界その他のいわゆる水商売の女性であり、それが結婚とむすびつのは、まれな例外でした。

恋愛はむろん、日本文学と無縁であったものではありません。

反対に、それは「万葉集」以来、我が国の文学の最大の主題であったといえましょう。

「万葉集」や平安朝の時代では、恋愛はかなり自由であり、女性もそれを堂々で行うということがあったわけであります。

しかし、徳川時代の、とくに後半期の小説や、戯曲において、①封建道徳^{じふてい}の桎梏のもとに、ひどくゆがんだものにされてしまいました。

「A[]」や「恋」は、(い)イゼンとして文学の主要なテーマであるにちがいないのですが、それは「不義」な「いたずら」であり、その「B[]」をあえて犯す者の行く手には「C[]」が待つだけでした。

これに対して、西洋ではそうでないということは今さらいうまでもないことです。西洋の女子教育は、一般の家庭ではかなりやかましくて両親の(ろ)カントクも厳重であります。若い娘は自分で恋人を見つけ、好きな男性が見つかったらその人と結婚して幸福な家庭をつくるのが、一番よいことだというふうになっていて、恋する女性の権威というか、家庭や、社会における彼女の発言権がどの国でも認められていたわけです。

そういう恋愛の権利といいますか、恋愛というものを公然と認め、それによって人間が幸福を得ることが道徳の根本

であるというふうに西洋人は考えていたわけです。

このような②西洋風の恋愛観が、具体的に語られているところに——実をいえば小説の出来不出来というようなことはあまり問題でなかったのですが——翻訳小説が当時の読者にたいして持った最大の（は）ミリョクがあったと思われます。そのほかに政治の運営の実状、裁判の情景、宗教の日常生活への溶けこみかた、など西洋人の生活の實際が描かれているところは、新しい社会、新しい人生のあるべき姿を読者に教えるものとされました。

そういうふうに西洋の文学の影響は、まず恋愛についての我々の考えを変える役に立った、あるいは我々の考えが自から変わってきたのでそういう西洋の小説に興味を持つようになったこともいえます。これは明治文学の非常に大きな一つの現象であるといってもよいでしょう。

こういう外国の実例だけでなく、それを理論的に考えて恋愛の倫理的な権威というか、人生に対する価値をはっきりと言明したのは、北村透谷（一八六八——一八九四）です。

透谷だけでなく、明治二十年代の文学はいずれもこの問題をはっきりと扱うことで、戯作からの脱出を試みました。

透谷は明治十年代の人ではなくもう十年ほど遅れて出現した人ですが、透谷が一般に強い影響を及ぼしたのはこの恋愛についての彼の考えだったというふうにもいえるかと思います。

「恋愛は人世の^{ひやく}秘鑰なり」（「厭世詩家と女性」明治二十五年），「秘鑰」の「鑰」という字はまた大変むずかしい字でわかりにくいのですが、恋愛は人生の秘密を解く鍵であるというようなことをいまして、そして自分も恋愛を実行して、人生のいろいろな要素に逆らって理想を達成したというのが透谷の短い生涯で行った大きな事業であったと思います。

そういう透谷の仕事がある意味で③西洋文学の、あるいは西